

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 出雲方言の音韻

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002418">https://doi.org/10.15084/00002418</a>

# 出雲方言の音韻

木部 暢子\*

## 1 はじめに

2014年8月の調査では、島根県の出雲市斐川町、雲南市木次町、仁多郡奥出雲町横田、安来市広瀬町で調査を行った。その基礎語彙調査と文法項目調査のデータをもとにして、4地域の音韻の特徴を以下にまとめる。

## 2 母音

### 2.1 短母音

短母音は /a/, /i/, /u/, /e/, /o/ の5つで、/a/ は共通語の /a/ (ア) に、/i/ は共通語の /i/ (イ) に、/u/ は共通語の /u/ (ウ) に、/e/ は共通語の /e/ (エ) に、/o/ は共通語の /o/ (オ) に対応している。特徴的なのは、/i/ が中舌性の [i], [i̠] や緩みの [i̠] で発音される点、/e/ が口の開きが狭い [e̠] で発音される点である。その結果、出雲方言では /i/ と /e/ の区別、/i/ と /u/ の区別が曖昧になる。特に、子音を伴わずに単独で音節を作る /i/ と /e/ は、どちらも [e̠]~[e̠̚] と発音され、「イ」と「エ」の区別が非常に曖昧である。例えば、[e̠]~[e̠] (柄), [eda] (枝), [e̠ta]~ita (板), [e̠do] (井戸)。/i/ と /u/ に関しては、歯茎音の後で区別が非常に曖昧になる(具体例は3.2.2参照)。/u/ は口の丸めのない [u̠] であるが、子音を伴わずに単独で音節を作る場合や両唇音の後では [o] に発音されることがある。例えば、「虫(むし)」「筵(むしろ)」の「む」、「鱗(うろこ)」「蛆(うじ)」の「う」は、出雲市斐川町、雲南市木次町では [mo], [o] と発音される(奥出雲町横田、安来市広瀬町では [mu], [u])。以下に短母音の例をあげる。なお、用例中の j, ɸ は無声化した i, u を、e̠ は口の開きが小さい e (i 寄りの e) を、i̠ は口の開きが大きい i (e 寄りの i) を表す。また「~」は同一話者での発音の揺れを、「/」は話者による発音の違いを表す(以下同じ)。

表1 短母音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
a	豆(まめ)	mame (まめ)	mame (まめ)	mame (まめ)	mame (まめ)
	種(たね)	tane (たね)	tane (たね)	tane (たね)	tane (たね)
	肩(かた)	kata (かた)	kata (かた)	kata (かた)	kata (かた)
	鼻(はな)	hana (はな)	hana (はな)	hana (はな)	hana (はな)
i	実(み)	mi (み)	mi (み)	mi (み)	mi (み)
	指(ゆび)	ibi (いび)	ibi (いび)	juubi (ゆび)	jubi (ゆび)
	庭(にわ)	niwa (にわ)	niwa (にわ)	niwa (にわ)	niwa (にわ)
	鳥(とり)	tori (とり)	tori (とり)	tori (とり)	tori (とり)

\* きべ のぶこ：国立国語研究所・教授

	木(き)	kɯi (き)	kɯi (き)	ki (き)	kʰi~ki (き)
	麦(むぎ)	muŋɯi (むぎ)	muŋɯi (むぎ)	muŋi (むぎ)	muuɯi (むぎ)
u	山羊(やぎ)	buuta (ふた)	buuta (ふた)	buuta (ふた)	buta (ふた)
	麦(むぎ)	muŋɯi (むぎ)	muŋɯi (むぎ)	muŋi (むぎ)	muuɯi (むぎ)
	糠(ぬか)	nika (にか)	neka (ねか)	nuka (ぬか)	nuka (ぬか)
	笊(ざる)	dzaru (ざる)	dza: (ざー)	dzaru (ざる)	dzaru (ざる)
	雲(くも)	kumo (くも)	kumo (くも)	kimo (きも)	kumo (くも)
	歯茎(はぐき)	haguɯkɯi (はぐき)	haguɯkɯi (はぐき)	haguɯki (はぐき)	haŋki (はんき) ~hauɯɯki (はぐき)
	雲脂(ふけ)	ɸu[kɛ (ふけ)	ɸuɯkɛ (ふけ)	ɸuɯke (ふけ)	ɸuɯkɛ (ふけ)
o/u	虫(むし)	mosi (もし)	mosi (もし)	muɯei (むし)	muɯei (むし)
	筵(むしろ)	mosso (もっそ)	mosso (もっそ)	musiro (むしろ)	muɯei (むしろ)
	鱗(うろこ)	uroko (おろこ)	uroko (おろこ)	uuroko (うろこ)	uuroko (うろこ)
	蛆(うじ)	ozi (おじ)	ozi (おじ)	uuzi (うじ)	uɯɯzi (うぢ)
e	目(め)	mɛ (め)	mɛ (め)	me (め)	mɛ (め)
	手(て)	tɛ (て)	tɛ (て)	te (て)	te (て)
	毛(け)	kɛ (け)	kɛ (け)	ke (け)	kɛ~ke (け)
	臍(へそ)	hɛso (へそ)	hɛso (へそ) ~ɸɛso (ふえそ)	heso (へそ)	heso (へそ)
	涎(よだれ)	jodare (よだれ)	jodare (よだれ)	jodare (よだれ)	gobozi (ごぼじ)
o	桃(もも)	momo (もも)	momo (もも)	momo (もも)	momo (もも)
	壺(つぼ)	teibo (ちぼ)	tsibo (ちぼ)	tsubo (つぼ)	tsubo (つぼ)
	鳥(とり)	tori (とり)	tori (とり)	tori (とり)	tori (とり)
	底(そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)
	米(こめ)	kome (こめ)	kome (こめ)	kome (こめ)	kome (こめ)
	五人(ごにん)	gonin (ごにん)	gonin (ごにん)	gonin (ごにん)	gonin (ごにん)

表2 「エ」「イ」に対応する音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
エ	柄(え)	ɛ (え)	e (え)	je (いえ)	e (え)
	海老(えび)	ebi (えび)	ibi (いび)	ebi (えび)	ɛbi (えび)
	襟(えり)	iri~iri (いり)	ɛri~ɛri (えり)	eri (えり)	iri (いり)
	枝(えだ)	eda (えだ)	eda (えだ)	eda (えだ)	eda (えだ)
イ	板(いた)	ɛta (えた)	ita (いた)	ita (いた)	ita (いた)
	井戸(いど)	ɛdo (えど)	enonto (えのんと)	ido (いど)	ido (いど)
	いさり(夜の漁)	ɛsa: (えさー)	isari (いさり)	NR	isari (いさり)
	稲光 (いなびかり)	ɯnabika: (いなびかー)	ɯnabika: (いなびかー)	inabikari (いなびかり)	inabikari (いなびかり)
	糸(いと)	ito (いと)	ito (いと)	ito (いと)	ito (いと)
	息(いき)	ikɯi (いき)	ikɯi (いき)	iki (いき)	iki (いき)

いつ	itsi (いち)	itsi (いち)	itsi (いち)	ętsi (えち)
鳥賊(いか)	ika (いか)	ika (いか)	ika (いか)	ika (いか)
犬(いぬ)	inu~inu (いの)	ino (いの)	inu (いぬ)	ini (いに)
莓(いちご)	itsigo (いちご)	itsigo (いちご)	iteigo (いちご)	iteiuo (いちご)
石(いし)	isi~jsi (いし)	isi (いし) ~ęsi (えし)	iei (いし)	iei (いし)
刺青 (いれずみ)	iridzumi (いりづみ)	iredzimi (いれじみ)	irezimi (いれじみ)	eredzin (えれぢん)
色(いろ)	iro (いろ)	ıro (いろ)	ıro (いろ)	iro (いろ)
従兄弟(いとこ)	itoko (いとこ)	itoko (いとこ)	ıtoko (いとこ)	itoko (いとこ)
お祝い (おいわい)	iwai~rwei (いわい)	iwaigoto (いわいごと)	oiwae (いわえ)	ęwae goto (えわ えごと)/ęwae (えわえ)
命(いのち)	inotsi (いのち)	inotsi (いのち)	NR	inotei~inotei (い のち)
稲(いね)	ine (いね)	ine (いね)	ine (いね)	ine (いね)
芋(いも)	imo (いも)	imo (いも)	imo (いも)~ emo (えも)	imo (いも)
いるか	iruuka (いるか)	iruuka (いるか)	iruuka (いるか)	iruuka (いるか)
家(いえ)	ie (いえ)	ie (いえ)	ie (いえ)	ie (いえ)
いろり	irori (いろり)	irori (いろり)	irori (いろり)	irori (いろり)
妹(いもうと)	imo:to (いもーと) ~imoto (いもと)	imo:to (いもーと)	NR	imo:to (いもーと)

## 2.2 長母音

長母音は /a:/, /i:/, /u:/, /e:/ [eː, ɛː], /o:/ の5つである。以下に例をあげる。

表3 長母音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
a:	瓦(かわら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)
	俵(たわら)	ta:ra (たーら)	ta:ra (たーら)	ta:ra (たーら)	ta:ra (たーら)
i:	汁(しる)	ei: (しー)	si: (しー)	siru (しる)	siri (しり)~si: (しー)
	かまきり	kamak:i: (かまきー)	kamak:i: (かまきー)	kamakiri (かまきり)	kamakiri (かまきり)
u:	夕食(ゆうめし)	jɔ:han (よーはん)	i:han (いーはん)	ju:han (ゆーはん)	ju:han (ゆーはん)
	食べる	ku: (<う)	ku: (<ー)	ku: (<ー)	ku: (<ー)
	背丈(せたけ)	se: (せー)	ęe: (しえー)	setake (せたけ)	ęe: (しえー)~se (せ)
e:	煙管(きせる)	kįse: (きせー)	kįse: (きせー)~ kįęe: (いしえー)	kįęeru (きしえる)	kiseru (きせる)
	稗(ひえ)	hę: (へー)	ęę: (ふえー)	ęie (ひえ)	ęę: (ふえー)
o:	今日(きょう)	kjo: (きよー)	kjo: (きよー)	kjo: (きよー)	kjo: (きよー)
	煙(けむり)	kemo: (けもー)	kemo: (けもー)	kemuri (けむり) ~kebuuri (けぶり)	kemuri (けむり)
	麴(こうじ)	ko:đi (こーぢ)	ko:zi (こーじ)	ko:zi (こーじ)	ko:zi (こーじ)

## 2. 3 二重母音

二重母音には, /ai/, /ae/ [ae, ae, aæ], /ui/, /oi/, /oe/ [oe, oe, oæ] がある。以下に例をあげる。

表4 二重母音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ai,ae	粥(かゆ)	kai (かい)	okae (かえ)	okaju (かゆ)	kai (かい)
	貝(かい)	kaɛ (かえ)	kaɛ (かえ)	kai (かい)	kaɪ (かい)
	灰(はい)	haɛ (はえ)	hae (はえ)	hai (はい)	hai (はい)
	盥(たらい)	taraɛ (たらえ)	tarae (たらえ)	tarai (たらい)	tarai (たらい)
	眉(まゆ)	maɛ (まえ) / maeɛ (まえげ)	maeɛɛ (まえげ)	majuu (まゆ)~ maige (まいげ)	majuuɛ (まゆげ)
	大根(だいこん)	daɛko (だえこ)	daɛko (だえこ)	daikon (だいこん)	daikon (だいこん)
oi,ui	手ぬぐい	tenogoi (てのごい)	tenogoi (てのごい)	tenouɔo (てのご)	tenugui (てのぐい)
oi	甥(おい)	oi (おい)	oikko (おいっこ)	oibosi (おいぼし)	oibosi (おいぼし)
	青い(おおい)	aoi (あおい)	aoi (あおい)	aoi (あおい)	aoi (あおい)
ei	姪(めい)	me: (めー) / mei (めい)	meikko (めいっこ)	meikko (めいっこ)	meigo (めいご)
ui,ue	上(うえ)	ui ~ui (うい)	ue ~ue (うえ)	ue (うえ)	ue (うえ)
ui	篩(ふるい)	ɸurui (ふるい)	to:si (とーし)	ɸurui (ふるい)	ɸurui (ふるい)

## 3 子音

## 3. 1 両唇音

両唇音には無声閉鎖音の /p/, 有声閉鎖音の /b/, 鼻音の /m/ がある。これらは、それぞれ共通語の /p/, /b/, /m/ に対応している。

表5 両唇音 /p/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
pa	草原(くさはら)	kusappara (くさっぱら)	kusappara (くさっぱら)	no (の) / noppara (のっぱら)	jabu (やぶ)
	たくさん	ippai ~ ippai (いっぱい)	ippai (いっぱい)	kodakusan (こたくさん)	eppodo (えっぽど) / joke (よけ)
pe	頂上 (ちょうじょう)	teppen (てっぺん)	teŋko (てんこ)	teŋkotsu (てんこつ)	tippin (ていっぴん)
po	尾(お)	si:bo (しーぼ)	si:bo (しーぼ)	o (お) / eippo (しっぼ)	oppo (おっぼ)

表6 両唇音 /b/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ba	夜(よる)	ban (ばん)	ban (ばん)	joru (よる)	joru (よる)
	傍(そば)	soba (そば)	soba (そば)	soba (そば)	soba (そば)
bi	旅(たび)	tabi (たび)	tabi (たび)	rjoko: (りよこー)	tabi (たび)
	帯(おび)	obi (おび)	obi (おび)	obi (おび)	obi (おび)

bu	山羊(やぎ)	buta (ぶた)	buta (ぶた)	buta (ぶた)	buta (ぶた)
	たんこぶ	kobuu (こぶ)	kobuu (こぶ)	taŋkobuu (たんこぶ)	taŋkobuu (たんこぶ)
be	尿(にょう)	eikko (しっこ) / eo:be (しよーべ)	eo:ben (しよーべん)	no: (にょー) / eombe (しよんべ)	eomben (しよんべん)
bo	壺(つぼ)	teibo (ちぼ)	tsibo (ちぼ)	tsubo (つぼ)	tsubo (つぼ)

表7 両唇音 /m/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ma	豆(まめ)	mame (まめ)	mame (まめ)	mame (まめ)	mame (まめ)
	胡麻(ごま)	goma (ごま)	goma (ごま)	goma (ごま)	goma~uoma (ごま)
mi	右(みぎ)	migi~migi (みぎ)	migi (みぎ)	miuqi (みぎ)	migi (みぎ)
	耳(みみ)	mimi (みみ)	mimi (みみ)	mimi (みみ)	mimi (みみ)
	海(うみ)	omi (おみ)	umi ~ ūmi (うみ)	umi (うみ)	umi (うみ)
mu	麦(むぎ)	muug <sup>2</sup> i (むぎ)	muug <sup>2</sup> i (むぎ)	muugi (むぎ)	muuqi (むぎ)
	寒い(さむい)	samui (さむい)	samui (さむい)	sami: (さみー)	sami (さみ)
me	目(め)	mę (め)	mę (め)	me (め)	mę (め)
	爪(つめ)	tsime (ちめ)	tsime (ちめ)	tsume (つめ)	tsume (つめ)
mo	桃(もも)	momo (もも)	momo (もも)	momo (もも)	momo (もも)
	蜘蛛(くも)	kumo (くも)	kumo (くも)	kumo (くも)	kumo (くも)

### 3. 2 歯茎音

出雲方言の歯茎音には、閉鎖音(無声)の /t/, 閉鎖音(無声)の /d/, 摩擦音(無声)の /s/, 摩擦音(有声)の /z/, 鼻音の /n/, 弾き音の /r/ がある。

#### 3. 2. 1 歯茎音閉鎖音

/t/, /d/ は共通語の /t/, /d/ に対応している。

表8 歯茎閉鎖音 /t/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ta	種(たね)	tane (たね)	tane (たね)	tane (たね)	tane (たね)
	肩(かた)	kata (かた)	kata (かた)	kata (かた)	kata (かた)
te	手(て)	te (て)	te (て)	te (て)	te (て)
	明後日(あさって)	asatte (あさって)	asatte (あさって)	asatte (あさって)	asatte (あさって)
to	鳥(とり)	tori (とり)	tori (とり)	tori (とり)	tori (とり)
	跡(あと)	ato (あと)	ato (あと)	ato (あと)	ato (あと)

表9 歯茎閉鎖音 /d/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
da	だれ	da: (だー)	da: (だー)	da: (だー)	da: (だー)

	枝(えだ)	eda (えだ)	eda (えだ)	eda (えだ)	eda (えだ)
de	おでき	dek <sup>h</sup> imono (できもの)	dek <sup>h</sup> imon (できもん)	dekimono (できもの)	dek <sup>h</sup> imono (できもの)
	百足(むかで)	mukade (むかで)	mukade (むかで)	mukade (むかで)	mukade (むかで)
do	どう	doge (どげ)	doge (どげ)	doge: (どげー)	doge (どげ)

### 3. 2. 2 歯茎摩擦音

/s/, /z/ は共通語の /s/, /z/ に対応している。/s/ は、母音 /a, o/ の前で [s] , 母音 /i, u, e/ の前で [s] または [ɕ] である。出雲方言では /i/ が中舌性の発音であるため、「シ」と「ス」の区別が曖昧になる。この特徴は特に出雲市斐川町、雲南市木次町で顕著。奥出雲町横田と安来市広瀬町では、[si]~[ɕi] と [su] (表の網掛け部分) で区別される。

表 10 歯茎摩擦音 /s/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
sa	魚(さかな)	sakana (さかな)	sakana (さかな)	sakana (さかな)	sakana (さかな)
	朝(あさ)	asa (あさ)	asama (あさま)	asama (あさま)	asa (あさ)
so	底(そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)
	潮(しお)	so (そ)~sso (っそ)	so (そ)	ɕo (そ)	sio (しお)
se	背中(せなか)	senaka (せなか)	ɕenaka (しえなか)	senaka (せなか) /se (せ)	ɕenaka (しえなか) ~senaka (せなか)
	煙管(きせる)	kj̥se: (きせー)	kj̥se: (きせー)~ k̥j̥e: (きしえー)	k̥j̥ɕeru (きしえ る)	kiseru (きせる)

表 11 「シ」に対応する音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
シ	白髪(しらが)	ɕiraga (しらが)	ɕiraga (しらが)	ɕiraga (しらが)	ɕirauɕe~ɕirage (しらげ)
	島(しま)	sima (しま)	ɕima (しま)	ɕima (しま)	ɕima (しま)
	下(した)	sita (した)	ɕita (した)	ɕita (した)	ɕita (した)
	印(しるし)	ɕirici (しるし)	sirusi (しるし)	sirusi (しるし)	ɕiruei (しるし)
	明日(あした)	asita (あした)	acita (あした)	acita (あした)	acita (あした)
	昔(むかし)	mukasi (むかし)	mukasi (むかし)	mukacɕi (むかし)	mukacɕi (むかし)
	足(あし)	aci (あし)	asi (あし)	aci (あし)	aci (あし)
	虫(むし)	mosi (もし)	mosi (もし)	muɕi (むし)	muɕi (むし)
	石(いし)	isi~j̥si (いし)	isi (いし)~ɕsi (えし)	ici (いし)	ici (いし)

表 12 「ス」に対応する音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ス	粕(かす)	kacɕi~kasi (かし)	kasi (かし)	kasɕi (かし)	kasɕi (かし)
	裾(すそ)	siso (しそ)	siso (しそ)	ɕiso (しそ)	suuso (すそ)
	好きだ(すきだ)	s̥j̥k̥ida (しきだ)	s̥j̥k̥ida (しきだ)	sikida (しきだ)	suiteo: (すいちょー)
	脛(すね)	sine (しね)	sime (しね)	suune (すね)	muiko:zune

				(むこーずね)
筋(すじ)	sizi (しじ)	sidzi (しぢ)	suɔdzi (すぢ)	sizi (しじ)
雀(すずめ)	sizime̞ (しじめ)	sizime̞ (しじめ)	suɔzume (すずめ)	suɔzume (すずめ)
薄(すすき)	sisikʰi (ししき)	sisikʰi (ししき)	suɔsuki (すすき)	suɔsuki (すすき)

/z/ は異音として [z], [dz], [z̥], [dz̥] を持つ。母音 /a, o/ の前では [z] または [dz] が、母音 /i, u, e/ の前では [z̥], [dz̥], [z̥], [dz̥] が現れる。出雲方言では /i/ が中舌性の発音であるため、「ジ」と「ズ」の区別が曖昧になる(出雲市斐川町, 雲南市木次町で顕著)。以下に例をあげる。

表 13 歯茎摩擦音 /z/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
za	筧(ざる)	dzaru (ざる)	dza: (ざー)	dzaru (ざる)	dzaru (ざる)
	莫蔭(ござ)	godza (ござ)	goza (ござ)	goza (ござ)	muciro (むしろ)
zo	草履(ぞうり)	zo:ri (ぞーり)	dzo:ri~dzo:ri̞ (ぞーり)	dzo:ri (ぞーり) / dzondzo (ぞんぞ, 幼児語)	dzo:ri (ぞーり)
	溝(みぞ)	mizo (みぞ)	mɛzokko (めぞっこ)	mizɔ (みぞ)	midzo (みぞ)
ze	膳(ぜん)	dzen (ぜん)	dzen (ぢえん)	dzen (ぢえん)	zen (ぜん)
	風(かぜ)	kaze (かぜ)~ kaze (かじえ)	kaze (かぜ)	kaze~kadze (かぜ)	kadze (かぜ)

表 14 「ジ」に対応する音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
zi	地震(じしん)	zisɪn (じしん)	zisɪn (じしん)	dziɛɪn (ぢしん)	dziɛɪn (ぢしん)
	味(あじ)	adzi (あぢ)	azi (あじ)	azi (あじ)	azi (あじ)
	蛆(うじ)	ozi (おじ)	ozi (おじ)	uɔzi (うじ)	uɔdzi (うぢ)

表 15 「ズ」に対応する音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
zu	水(みず)	mizi (みじ)	m̥izi (みじ)	m̥izi (みじ)	midzu (みず)
	蚯蚓 (みみず)	mɛmɛzi (めめじ)	m̥im̥indzo (みみんぞ) ~m̥im̥izɔ (みみぞ)	memezi (めめじ)	m̥im̥idzu (みみず)
	雀(すずめ)	sizime̞ (しじめ)	sizime̞ (しじめ)	suɔzume (すずめ)	suɔzume (すずめ)

### 3. 2. 3 破擦音

/c/ は共通語の /c/ に対応している。/c/ は、母音 /a/ の前では [ts] ([ototsan] (お父さん), [ottsan] (おじさん) の2例のみ), 母音 /i, u/ の前では [ts̥] または [tɕ̥] で現れる。/c/ が母音 /e, o/ と結びついた [tɕe], [tɕo] のような音は現れない。出雲方言では /i/ が中舌性の発音であるため、「チ」と「ツ」の区別が曖昧である。特に、出雲市斐川町, 雲南市木次町で顕著。調査の範囲では、奥出雲町横田, 安来市広瀬町に関しては「チ」= [tɕi], 「ツ」= [tɕu] (網掛け部分) で現れた。以下に例をあげる。



表 15 硬口蓋破擦音 /c/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ca	お父さん	ototsan (おとつあん)	otosan (おと一さん)	ojazi (おやじ)	ototsan (おとつあん)
	おじさんたち	ottsan (身内以外 のおじさん)	odzisanra (おぢさんら)	ozisantatsi (おじさんたち)	ottsan jatsi (おつつあんやち)

表 16 共通語の「チ」に対応する音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
チ	血(ち)	tsi (ち)	tsi (ち)	tei (ち)	tsi (ち)
	乳(ちち)	tsitsi (ちち)	tsitsi (ちち)	teitei (ちち)	tsitsi (ちち)
	力(ちから)	tsɨkara (ちから)	tsɨkara (ちから)	teikara (ちから)	teikarakobu (ちからこぶ)
	苺(いちご)	itsigo (いちご)	itsigo (いちご)	rteigo (いちご)	iteiuo (いちご)
	蜂(はち)	hatsi (はち)	hatsi (はち)	hatei (はち)	hatei (はち)
	命(いのち)	inotsi (いのち)	motsi (いのち)	NR	inotei~inotei (いのち)
	道(みち)	mɨtsi (みち) ~metsi (めち)	mitsi (みち)	mitei (みち)	mitei (みち)
	口(くち)	kɸɨtsi~kɨtsi (くち)	kɨtei (くち)	kɨtei (くち)	kɨtei (くち)
	内(うち)	utsi (うち)	utei (うち)	urtsi~utei (うち)	utei (うち)
	餅(もち)	motei (もち)	motsi (もち)	motsi (もち)	motsi (もち)

表 17 共通語の「つ」に対応する音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ツ	一つ(ひとつ)	ɸɨtotsi (ふとち)	ɸɨtotsi (ふとち)	ɸito:tsi (ふいと一ち)	ɸɨtotsi (ふとち)
	二つ(ふたつ)	ɸɨtatsi (ふたち)	ɸɨta:tsi (ふた一ち)	ɸuta:tsi (ふた一ち)	ɸɨta:tsi (ふた一ち)
	月(つき)	tsik <sup>ɨ</sup> i (ちき)	otsikisan (おちきさん)	tsɨki (つき)	tsuk <sup>ɨ</sup> i (つき)
	壺(つぼ)	teibo (ちぼ)	tsibo (ちぼ)	tsubo (つぼ)	tsubo (つぼ)
	粒(つぶ)	teibi~tsibi (ち び)	tsibi (ちび)	tsubu (つぶ)	tsibu (ちぶ)
	爪(つめ)	tsime (ちめ)	tsime (ちめ)	tsume (つめ)	tsume (つめ)
	露(つゆ)	tsiju (ちゆ)	tsiju (ちゆ)	tsujju (つゆ)	tsujju (つゆ)
	面(つら)	tsira (ちら)	tsira (ちら)	tsura (つら)	tsura (つら)
	夏(なつ)	natsi (なち)	natsi (なち)	natei (なち)	natsu (なつ)
	松(まつ)	matsi (まち)	matsi (まち)	matsu (まつ)	matsu (まつ)
	鯉(かつお)	katsio (かちお)	katsio (かちお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)

### 3. 2. 4 歯茎鼻音

歯茎鼻音の /n/ は、共通語の /n/ に対応している。母音 /a, u, e, o/ の前では [n], 母音 [i] の前では硬口蓋音の [ɲ] で発音される。

表 18 歯茎鼻音 /n/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
na	涙(なみだ)	nanda (なんだ)	nanda (なんだ)	namida (なみだ)	namida (なみだ)
	鼻(はな)	hana (はな)	hana (はな)	hana (はな)	hana (はな)
ni	荷(に)	ni (に) / nimotsi (にもち)	ni (に)	ni (に)	ni (に)
	庭(にわ)	niwa (にわ)	niwa (にわ)	niwa (にわ)	niwa (にわ)
nu	糠(ぬか)	nika (にか)	neka (ねか)	nuka (ぬか)	nuka (ぬか)
ne	根(ね)	ne (ね)	ne (ね)	ne (ね)	nekkō (ねっこ)
	種(たね)	tane (たね)	tane (たね)	tane (たね)	tane (たね)
no	蚤(のみ)	nomi (のみ)	nomi (のみ)	nomi (のみ)	nomi (のみ)
	物(もの)	mono (もの)	mon (もん)	mono (もの)	mono (もの)

### 3. 2. 5 歯茎はじき音

歯茎はじき音の /r/ は、共通語の /r/ に対応している。

表 19 歯茎はじき音 /r/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ra	来年(らいねん)	rainen (らいねん)~ raenen (らえねん)	ræ:nen (れーねん)	rainen (らいねん)	rainen (らいねん)
	皿(さら)	sara (さら)	sara (さら)	sara (さら)	sara (さら)
ri	襟(えり)	iri~iri (いり)	eri~eri (えり)	eri (えり)	iri (いり)
	踊り(おどり)	odori (おどり) / odo:sa (おどーさ)	odori (おどり)	odori (おどり)	odo: (おどー)
	埃(ほこり)	hoko: (ほこり)	hoko: (ほこー)	hokori (ほこり)	hokori (ほこり)
	隣(となり)	tonari (となり)~ tona: (となー)	tona: (となー)	tonari (となり)~ tona: (となー)	tonari (となり)
ru	策(ざる)	dzaru (ざる)	dza: (ざー)	dzaru (ざる)	dzaru (ざる)
	昼(ひる)	çiruu (ひる)	çiru (ひる)	hiruma (ひるま)	çiruu (ひる)
	汁(しる)	ei: (しー)	si: (しー)	si:ru (しる)	si:ri (しり)~ si: (しー)
	煙管(きせる)	kjse: (きせー)	kjse: (きせー)~ kjçe: (きしえー)	kçjeeru (きしえる)	kiseru (きせる)
re	これ	kore (これ) / ko: (こー)	ko: (こー)	ko: (こー)	ko: (こー)
ro	色(いろ)	iro (いろ)	iro (いろ)	iro (いろ)	iro (いろ)

### 3. 4 軟口蓋音

軟口蓋音には、無声閉鎖音の /k/ と有声閉鎖音の /g/ がある。/k/ は母音 /i/ の前では呼気を伴う [kʰ], [kʰ] で発音される。また、/g/ は母音 /i/ の前では [gʰi] のように発音される。この特徴は、出雲市斐川町、雲南市木次町で特に顕著である。以下に例をあげる。

表 20 軟口蓋音 /k/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ka	肩(かた)	kata (かた)	kata (かた)	kata (かた)	kata (かた)
	垢(あか)	aka (あか)	aka (あか)	aka (あか)	aka (あか)
ki	肝(きも)	k <sup>s</sup> imo (きも)	k <sup>s</sup> imo (きも)	kimo (きも)	kimo~k <sup>h</sup> imo (きも)
	北(きた)	k <sup>s</sup> ita (きた)	kita (きた)	kita (きた)	k <sup>ɰ</sup> ita (きた)
	時(とき)	toki~tok <sup>s</sup> i (とき)	toki (とき)	toki~tok <sup>h</sup> i (とき)	toki (とき)
ku	雲(くも)	kumo (くも)	kumo (くも)	kimo (くも)	kumo (くも)
	草(くさ)	k(ɸ)u <sup>s</sup> a (くさ)	ku <sup>s</sup> a (くさ)	ku <sup>s</sup> a (くさ)	ku <sup>s</sup> a (くさ)
	ほくろ	hokɸuro (ほくろ) ~hoku (ほくろ)	ɸukuro (ほくろ)	hokuro (ほくろ)	hok <sup>h</sup> uro (ほくろ)
ke	毛(け)	kɛ (け)	kɛ (け)	ke (け)	kɛ~ke (け)
	酒(さけ)	sake (さけ)	sake (さけ)	sake (さけ)	sake (さけ)
ko	子(こ)	ko (こ)	ko (こ)	ko (こ)	ko (こ)
	米(こめ)	kome (こめ)	kome (こめ)	kome (こめ)	kome (こめ)
	底(そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)	soko (そこ)

表 21 軟口蓋音 /g/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ga	東(ひがし)	ɸugasi (ひがし)	ɕigaei~ɕigasi (ひがし)	hiu <sup>s</sup> aei (ひがし)	ɕigaei (ひがし)
	鏡(かがみ)	kagami (かがみ)	kagami (かがみ)	kagami (かがみ)	kagami (かがみ)
gi	麦(むぎ)	mu <sup>s</sup> g <sup>i</sup> (むぎ)	mu <sup>s</sup> g <sup>i</sup> (むぎ)	mu <sup>s</sup> gi (むぎ)	muu <sup>s</sup> gi (むぎ)
	兎(うさぎ)	osag <sup>i</sup> (おさぎ)	usag <sup>i</sup> (うさぎ)	usagi (うさぎ)	usau <sup>s</sup> gi (うさぎ)
	右(みぎ)	migi~migi (みぎ)	migi (みぎ)	miu <sup>s</sup> gi (みぎ)	migi (みぎ)
gu	歯茎(はぐき)	hagu <sup>s</sup> k <sup>i</sup> (はぐき)	hagu <sup>s</sup> k <sup>i</sup> (はぐき)	hagu <sup>s</sup> ki (はぐき)	han <sup>s</sup> ki (はんき)~ hau <sup>s</sup> uki (はぐき)
ge	棘(とげ)	toge (とげ)	toge (とげ)	toge (とげ)	to <sup>s</sup> ge (とげ)
go	五人(ごにん)	gonin (ごにん)	gonin (ごにん)	gonin (ごにん)	gonin (ごにん)
	孫(まご)	mago (まご)	mago (まご)	mago (まご)	mago (まご)

### 3. 5 声門音

声門音には、摩擦音(無声)の /h/ がある。/h/ は、母音 /a,e,o/ の前では [h], 母音 /i/ の前では口蓋音の [ç], 母音 /u/ の前では両唇音の [ɸ] で発音される。また, /i/, /e/ の前でも [ɸ] に発音されることがある(網掛け部分)。

表 22 声門音 /h/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ha	鼻(はな)	hana (はな)	hana (はな)	hana (はな)	hana (はな)
hi	火(ひ)	ɸu (ひ)	çi (ひ)	hi (ひ)	çi (ひ)
	肘(ひじ)	çi.zi (ひじ)~	heçzikko (へぢっこ)~	çidzi (ひぢ)	hizi~çizi (ひじ)

		φi:zi (ふいじ)	φeɟzikko (ふえぢっこ)		
	昼(ひる)	çiru (ひる)	çiru (ひる)	hiruma (ひるま)	çiru (ひる)
	人(ひと)	φito (ふいと)	çito (ひと)	çito (ひと)	φuto (ふと)
hu	冬(ふゆ)	φuju (ふゆ)	φuju (ふゆ)	φujɯ (ふゆ)	φujɯ (ふゆ)
	雲脂(ふけ)	φuke (ふけ)	φuke (ふけ)	φuke (ふけ)	φuke (ふけ)
he	屁(へ)	φe (ふえ)	he (へ)~φe (ふえ)	he (へ)	he (へ)
	臍(へそ)	heso (へそ)	heso (へそ)~ φeso (ふえそ)	heso (へそ)	heso (へそ)
ho	星(ほし)	hosi (ほし)	hosi (ほし)	hoɕi~hoɕi (ほし)	hoɕi (ほし)
	骨(ほね)	hone (ほね)	hone (ほね)	hone (ほね)	hone (ほね)

### 3. 6 接近音

接近音には /j/, /w/ がある。

#### 3. 6. 1 接近音 /j/

/j/ は硬口蓋の接近音で、共通語の /j/ に対応する。母音 /a, u, o/ の前に立つ。

表 23 接近音 /j/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
ja	山(やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)
	親(おや)	oja (おや)	oja (おや)	oja (おや)	oja (おや)
ju	湯(ゆ)	ji (ゆ)	i (い)	ju (ゆー)	ji (ゆ)
	夢(ゆめ)	jimi (ゆみ)	jume (ゆめ)	jume (ゆめ)	jumi (ゆみ)
	露(つゆ)	tsiju (ちゆ)	tsiju (ちゆ)	tsujju (つゆ)	tsujju (つゆ)
jo	涎(よだれ)	jodare (よだれ)	jodare (よだれ)	jodare (よだれ)	gobozi (ごぼじ)
	暦(こよみ)	kojomi (こよみ)	kojomɨ (こよみ)	kojomi (こよみ)	kojumi (こよみ)

/j/ はまた、子音の後ろに続いて、口蓋化した子音を作る。調査語の範囲では、次のような口蓋化子音が現れた。

表 24 口蓋化子音

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
pjo	鶉(うずら)	pjoppjodo: (ぴよっぴよどー)	uzira (うじら)	uzura (うずら)	uɟzura (うづら)
bja	飛べば	tobja (とびゃ)	tobja (とびゃ)		
bjo	病気(びょうき)	bjo:kɨ (びょーき)	bjo:kɨ (びょーき) / jamae (やまえ)	bjo:ki (びょーき) / etaɕi: (えたしー)	itasi (いたし)
mja	飲めば	nomja (のみゃ)	nomja (のみゃ)	nomja: (のみゃー)	nomja: (のみゃー)
mjo	夫婦(ふうふ)	φu:φu (ふーふ)	φu:φu (ふーふ)	mjo:to (みよーと)	mjo:to (みよーと)
rjo	料理(りょうり)	rjo:ri (りょーり)	rjo:ri (りょーり)	rjo:ri (りょーり)	rjo:ri (りょーり)
njo	昨日(きのう)	kɨjɲo: (きんによー)	keino: (きのー)	kɨjɲo: (きんによー)	kɨjɲo: (きんによー)

njo	尿(にょう)	eikko (しっこ) / eo:be (しよーべ)	eo:ben (しよーべん)	no: (にょー) / eombe (しよんべ)	eomben (しよんべん)
sja	明明後日 (しあさって)	eijasatte (しあさって)	ea:catte (しやーさって)	ea:satte (しやーさって)	eijasatte(しやさつ て)
	ひしゃく	ɸɕaku (ふしゃく)	ɕeaku (つしゃく)	ɕeaku (つしゃく)	ɕeaku (つしゃく)
sjo	塩(しお)	sso (つそ)	so (そ)	eo: (しよー)~ so: (そー)	ɕeo (つしよ)
	急須・鉄瓶 (きゅうす)	kɕibieo (きびしよ)	kɕibieo (きびしよ)	kɕibieo (きびしよ)	kibieo (きびしよ)
zja				miza: (みじやー 水は)	endzatta (えんぢや った 戻った)
zju	饅頭(まんじゅう)	manzu: (まんじゅー)		mandzu: (まんぢゅー)	
zjo	天井(てんじょう)	tendzo (てんぢょ)	tendzo (てんじょ)	tendzo: (てんぢょー)	tenzo: (てんじょー)
	長女(ちようじょ)	teo:dzo (ちよーぢょ)	teo:dzosan (ちよーぢょさん)	teo:zo (ちよーじょ)	teo:dzo (ちよーぢょ)
cja	茶碗(ちやわん)	teawan (ちやわん)	teawan (ちやわん)	teawan (ちやわん)	teawan (ちやわん)
cjo	少し(+指小辞)	teombosi (ちよんぼし)	teombosi (ちよんぼし)	teombosi (ちよんぼし)	teombosi (ちよん ぼし) / teokkosi (ち よっこし)
nja	山には			jamana: (やまにやー)	jamana: (やまにやー)
njo	昨日(きのう)	kijnno: (きんにょー)	kijnno: (きんにょ)	kijnno: (きんにょー)	kijnno: (きんにょー)
rja	あれは			arja: (ありやー)	arja: (ありやー)
kja	大きな	okkjan (おっきやん)	o:kjan (おーきやん)		
kju	九男(くなん)	kju:nan (きゅーなん)	NR	kju:nan (きゅーなん)	kju:nan (きゅーなん)
	胡瓜(きゅうり)	kʰi:ɾi (きーり)	kʰi:ɾi (きーり)	kju:ri (きゅーり) ~ki:ri (きーり)	kju:ri (きゅーり)
kjo	今日(きょう)	kjo: (きょー)	kjo: (きょー)	kjo: (きょー)	kjo: (きょー)
	去年(きよねん)	kjonɛn (きよねん)	kjonɛn (きよねん)	kjonɛn (きよねん)	kjonɛn (きよねん)

### 3. 6. 2 接近音 /w/

/w/ は両唇の接近音で、共通語の /w/ に対応する。/w/ は母音 /a/ の前にしか立たない。また、/k/ の後ろに続いて、唇音化した子音 /kʷ/ を作る。

表 25 接近音 /w/

	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
wa	藁(わら)	wara (わら)	wara (わら)	wara (わら)	wara (わら)
	椀(わん)	wan (わん)	wan (わん)	siruwan (わん)	wan (わん)
	川(かわ)	kawa (かわ)	kawa (かわ)	kawa (かわ)	kawa (かわ)
k <sup>w</sup> a	鋏(くわ)	k <sup>w</sup> a (くわ)	k <sup>w</sup> a (くわ)	k <sup>w</sup> a: (くわー)	kuwa (くわ)

### 3. 7 特殊音

特殊音には、撥音 /N/ (ん) と促音 /Q/ (っ) がある。これらは母音を伴わずに1つの拍を作

る。撥音は鼻にかかる音で、後ろに両唇音の [p], [b], [m] があるときには両唇の鼻音 [m] に、歯茎音の [t], [d], [n] があるときには歯茎の鼻音 [n] に、軟口蓋音の [k], [g] があるときには軟口蓋の鼻音 [ŋ] に、後ろに摩擦音の /s/ , 母音 /a, i, u/ があるとき、および語末では、口のどこも閉じない鼻音 [N] になる。

表 26 撥音

N	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
m	蜻蛉(とんぼ)	tombo (とんぼ)	tombo (とんぼ)	tombo (とんぼ)	tombo (とんぼ)
n	雷(かみなり)	kanna: (かんなー)	kannasan (かんなさん)	kanna:(かんなー) / kanna:san (かんなさん)	kaminari (かみなり)
	大蒜(にんにく)	ninniku (にんにく)	ninniku (にんにく)	pinpiku (にんにく)	pinpiku~ninniku (にんにく)
ŋ	夕方(ゆうがた)	banjata (ばんかた)	banjata (ばんかた)	jombegata (よんべがた)	banje (ばんげ)
	喧嘩(けんか)	kinaka (きんか) / i:jao (いーやお)	kenka (けんか)	kenk <sup>w</sup> a (けんくわ)	k <sup>w</sup> en <sup>w</sup> a (くえんくわ)
	頂上(ちょうじょう)	teppen (てっぺん)	tenko (てんこ)	tenkotsu (てんこつ)	tippin (てびん)
N	椀(わん)	wan (わん)	wan (わん)	siruwan (わん)	wan (わん)
	大根(だいこん)	daeko (だいこん)	daeko (だいこ)	daikon (だいこん)	daikon (だいこん)
	蜜柑(みかん)	mikan (みかん)	mikan (みかん)	mikan (みかん)	mikan (みかん)

促音は子音を重ねる発音で、調査の範囲では、[pp], [tt], [kk], [ss], [ɕɕ] の促音が現れた。

表 27 促音

Q	語	出雲市斐川町	雲南市木次町	奥出雲町横田	安来市広瀬町
pp	頂上(ちょうじょう)	teppen (てっぺん)	tenko (てんこ)	tenkotsu (てんこつ)	tippin (てびん)
	草原(くさはら)	kusappara (くさっぱら)	kusappara (くさっぱら)	noppara (のっぱら)	jabuu (やぶ)
tt	ぼった	batta (ぼった)	NR	batta (ぼった)	batta (ぼった)
	明後日(あさって)	asatte (あさって)	asatte (あさって)	asatte (あさって)	asatte (あさって)
kk	末っ子(すえっこ)	suekko (すえっこ) ~ euekko (しゅえっこ)	otogo (おとご) / suekko (すえっこ)	otombo (おとんぼ)	otogo (おとご)
ss	筵(むしろ)	mosso (もっそ)	mosso (もっそ)	musiro (むしろ)	mueiro (むしろ)
ɕɕ	いっしょ	ieeo (いっしょ)	ieeo (いっしょ)	jeeo (いっしょ)	

## 4 音素目録

以上の音素の一覧をあげておく。

### (1) 母音音素

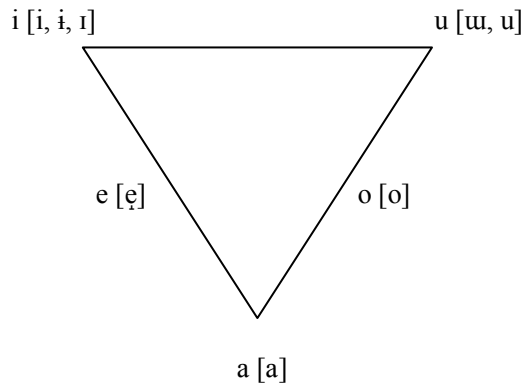


図1 短母音音素

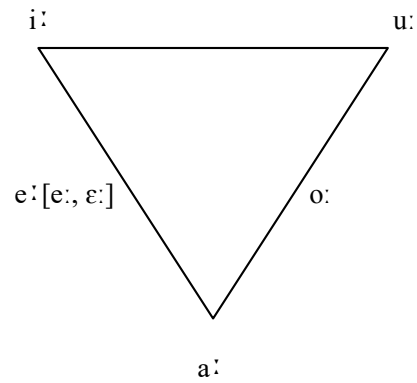


図2 長母音音素

### (2) 子音音素

表27 子音音素

調音方法		両唇	歯茎	硬口蓋	軟口蓋	声門
破裂	無声	p	t		k	
	有声	b	d		g	
鼻音		m	n [n~ɲ]			
摩擦	無声		s [s~ç]			h [h~ç~ϕ]
	有声		z [z~dz~z~dz]			
はじき			r			
破擦	無声			c [tʰ~tɕ]		
	有声					
接近		w		j		

### (3) 特殊音

撥音 N [N~m~n~ŋ]

促音 Q [pp, tt, kk, ss, çç]

## 5 音節

出雲方言の音節の構造は, (O) (G) N (Co) である。(Oは onset (頭子音), Gは glide (わたり音), Nは nucleus (中核母音), Coは coda (結び) を, () は任意であることを表す。)

音節の必須の要素は「中核母音」で, これに「頭子音」, 「わたり音」, 「結び」がついて, 1つ

の音節を作る。以下に音節構造と音節の例をあげておこう。

表 28 音節構造

O (頭子音)	G (わたり音)	N (中核母音)	Co (結び)
p, b, m	w j	a, i, u, e, o	N
t, d, s, n, r		a:, i:, u:, e:, o:	Q
c		ai, ae, ui, oi	
k, g			
h			

### 参考文献

- 糸原正徳・友定賢治（1991）「出雲方言概説」『地域文化資料叢刊 5 奥出雲のことば』  
溪水社, pp.1-15.
- 神部宏泰（1982）「島根県の方言」『講座方言学 8』国書刊行会, pp.211-238.
- 友定賢治編（2004）『湖西振興機構受託研究報告書 出雲方言資料』
- 前川喜久雄（1984）「母音の合一と混同の理論 津軽, 出雲方言を例として」『計量国語学』14-04
- 友定賢治（2007）「特集；方言と方言研究の現況——方言の現況点描中国方言(雲伯)」『国文学 解釈と鑑賞』（至文堂）72-07